

ふるさと港北ふれあいまつり

令和4年11月23日(水・祝)ふるさと港北ふれあいまつりが横浜アリーナにて開催されました。ステージイベント、わくわく抽選会、ブース出店等があり、多くの来場者で賑わいました。あいにくの冷たい雨でしたが、来場者のステキな笑顔を見ることができました。

青少年指導員ブース



青少年指導員協議会では、「ペットボトルロケットを飛ばそう!」と題し、ペットボトルロケットの発射体験ができるブースを出店しました。

水を入れずに空気だけでロケットを飛ばしましたが、「未来のペットボトルロケット大会の出場者」と思われる年代の子どもたちが、目をキラキラさせて順番を待っていたり、飛ばした音に驚いていたり、微笑ましい場面もありました。また、子どもだけではなく興味を持った大人も何人が体験し、ロケットの威力に感心していました。

混む時間帯には10人以上並ぶこともあり、大勢の人に大会について知っていただくとともに、親子で楽しんでいただけたようでした。(A.S.) (M.I.)

まつりの運営従事

ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会からの依頼のもと、当日会場内で運営に協力しました。

運営従事者の青少年指導員は、館内の消毒、巡回を担当しました。広いエリアのため、不明点もありましたが、地区をこえて声をかけ合い、飲食スペースをメインに、使用した椅子、テーブルの消毒と、館内を巡回しながら、人が良く触る箇所、共有するもの等の消毒を実施しました。

多くの来場者のみなさまがコロナ禍の開催中、安全安心に過ごせたことと思います。(M.I.)



全市統一行動キャンペーン活動

令和4年11月23日(水・祝)横浜アリーナで開催されたふるさと港北ふれあいまつりの会場内で全市統一行動キャンペーン活動を実施しました。

11月は「子供・若者育成支援強調月間」であり、横浜市青少年指導員統一行動標語「子どもの笑顔は社会のため」と、青少年指導員の活動をPRすべくキャンペーンを行いました。

活動啓発のプリント2枚とボールペンの配布をし、多くの来場者に受け取っていただけました。(A.S.)



令和5年度の活動計画

事業名	日程	主催	場所
全市一斉統一行動パトロール活動	7月下旬	横浜市青指協	区内各地区
社会環境実態調査(有害図書区分陳列調査含)	7月~8月	神奈川県	区内各地区
自然体験教室	9月中旬	港北区青指協	未定
ペットボトルロケット大会	11月3日(金・祝)	ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会	鶴見川樽町公園
全市統一行動キャンペーン活動	11月中旬	横浜市青指協	未定
港北区青少年指導員大会	3月頃	港北区青指協	未定
港北青指発行	11月・3月	区青指協	—

編集後記

気がついたらこの港北青指も49号。次号は記念の50号を迎えようとしています。

私が港北青指に携わり始めたのが平成20年22号の発行からなので、10年以上ということになります。

以前の号で港北青指の変遷をご紹介したことがありますが、これまでにさまざまな変化がありました。

ただここ数年は変化がなく、落ち着きすぎてしまっていないかと、ちょっと反省。

次号は折角の節目の号ですから、思い切って何かチャレンジをしてみたいなとも思っています。(H.M.)



港北区青少年指導員協議会広報紙

港北青指

第49号
令和5年3月発行

発行者
港北区青少年指導員協議会
編集 広報委員会
事務局
港北区大豆戸町26-1
港北区役所地域振興課内
TEL 045-540-2239
FAX 045-540-2245

港北青指 検索

青少年の健全育成を進める県民大会

令和5年1月21日(土)、「青少年の健全育成を進める県民大会」が川崎市麻生市民館にて開催されました。

東京学芸大学 柴田彩千子准教授による基調講演「ポストコロナ時代の支援」においては、「子どもの居場所」に注視されていました。先生や親との上下関係や友達との同列関係とは異なる、地域の大人というナナメの関係の重要性についてご説明頂きました。学校や家庭とは違う「子どもを評価しない」「一緒になって何かをする」居場所が地域に求められているのではないかと、そして子ども達は心の余裕と達成感を得ることで、自己肯定感が高まると説明していました。

また、続いて「子ども達の居場所づくり」に必要なものをテーマにパネルディスカッションが行われました。NPO法人ファザーリング・ジャパン理事の川島高之氏は、大人たちの繋がりが必要とし、自らの経験から、成り手のないPTAもムダを省くことで担えるのではと提起されています。また居場所づくりによって、先生方の時間と心のゆとりも与えられると説明されていました。子どもの未来サポートオフィス代表の米田佐知子氏からは、自身の育児体験から「肯定してくれる大人の友達」が2歳~年少の間にとっても重要な存在とし、子どもに役割を与えることで、達成感と自己肯定感を育めると話されていました。とても興味深いディスカッションでした。(K.K.)



令和4年度 横浜市青少年指導員永年勤続者顕彰

※敬称略

25年以上顕彰者

白石 友恵(師岡)

15年顕彰者

印牧 敏男(日吉) 松井 孝子(綱島) 水野 浩三(篠原) 伊藤 伸彦(新吉田)

小泉 義行(日吉) 岩崎 宏文(篠原) 金子 清紀(新羽) 荒川 進孝(高田)

顕彰者の挨拶



伊藤 伸彦 さん

役割も解らぬまま引き受けた青少年指導員をまさか15年も続けるとは、なった当時は想像もしていませんでした。青少年指導員になり地域に知人友人が増えて日々の生活が楽しくなりました。勤め先の人間関係では得られない様々な経験をお持ちの方々とお話する機会が私の視野を拓けてくれたかけがえのない財産です。

この15年で社会は激変したと感じています。コンプライアンス意識が高まり、SNSが青少年世代へも普及し、追いつけない気持ちも感じます。でも、ひとりひとり対一のコミュニケーション、いつでもこれが基本、大事なことは時を経ても不変だと強く感じます。そのことを肝に銘じて今後もすべての人に接していけるよう頑張りたいと思います。



水野 浩三 さん

令和5年の4月で青少年指導員活動15年が過ぎます。この15年を振り返ってみると、気がついたら15年も経っていたというのが実感です。

広報の活動を長く担当させていただいている関係もあり、参加させていただいたそれぞれの活動、イベントは今でも鮮明に思い出すことができます。現状のコロナ禍では難しいですが自然体験教室で、子どもたちと一緒にカレーを作ったり、工作などをしたりできたのはとても大切な思い出です。

子どもたちと一緒に何かに取り組んだり、体験したりできることが青少年指導員の良いところではないでしょうか。後どれくらい続けられるかはわかりませんが、子どもたちと同じ目線で、あまり気負わずに活動を続けていきたいと思っています。



第25回ペットボトルロケット大会開催!!

令和4年11月3日(文化の日)快晴の鶴見川樽町公園にて第25回ペットボトルロケット大会を開催しました。コロナ感染拡大の影響からロケットの発射は2019年以来3年ぶり。総勢150人が参加し100メートル超えに挑戦!「デザイン賞」へも多数の参加!工夫を凝らしたデザインに投票にも熱が入りました。今回「飛距離部門」と「デザイン部門」の2部門の大会が行われ3年分の思いを込めて気合のこもったロケットがそろいました!



3年ぶりの開催に思いをこめて選手宣誓!

§.1 飛距離部門 (参加者:150人)



発射準備OK?

発射! 飛べー!



順位	氏名	地区	飛距離
1位	齋藤仁奈さん	城郷	90m73cm
2位	板垣柚香さん	樽町	90m34cm
3位	山田怜央くん	綱島	90m00cm

※今回も90メートル超えのロケットが多数!

§.2 デザイン部門 (参加者:23人)



今回もアイデアいっぱい。カラフルなロケットがそろいました!



鶴見川へ飛ばしても大丈夫だよ...



賞	氏名	地区	得票数
港北区長賞	藤川紗都さん	樽町	30票
ふるさと港北ふれあいまつり会長賞	大畑燈吾くん	大曾根	27票
港北区青少年指導員会長賞	幸崎源典くん	菊名	14票

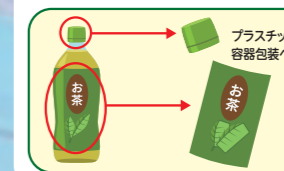
3年のブランクを超えて開催となったにもかかわらず90メートル超えのロケットが多数となり、デザイン部門でも創意工夫を凝らしたロケットが出品され、子どもたちが本大会を楽しみに待ちわびていたことが伺えました。来年もペットボトルロケット噴射でコロナを吹き飛ばしましょう!各地区で講習会を行っています。詳細は各地区の青少年指導員におたずねください!次回こそ 目指せ飛距離 100メートル!



ペットボトルは大切なリサイクル品です

●ペットボトルの出し方のお願い!

ペットボトルは軽くゆすぎ、キャップとラベルを外して出してください。(キャップとラベルはプラスチック製容器包装へ!スーパーマーケット等で実施している店頭回収もご活用ください。)



きちんと分けることで、キャップとラベルもリサイクルできるよ

「ヨコハマ3R夢」マスコットイーオ